

学校名 久喜市立鷲宮東中学校
所在地 久喜市八甫4丁目46番地
電話 0480-58-2023

1 本校の概要

本校は学校教育目標として「心と技を磨く生徒」の育成を掲げ、自分自身の良さや課題と向き合いながら、仲間の良さに気づき互いに切磋琢磨する態度を育てるための教育を行っている。また、目指す学校像「私があなたがみんなでつくる笑顔あふれる学校」のもと、教員のみならず様々な方と協力し、教育活動を行っている。

また、朝読書の時間を設定し、日々の生活の中で読書をする機会を作っている。

2 本校の実践例

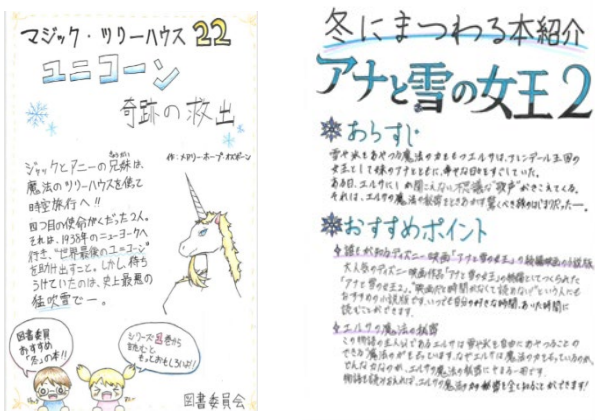
(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

(2) 実践の概要

ア 季節や時期のイベントに係る読書推奨ポスターの作成

読書に対する関心が薄い生徒に向け、図書委員会が季節やなじみの深いイベントに関係のある作品を紹介するポスターを作製した。



作品は学校図書館にある本の中から選び、そのあらすじや見どころなどをまとめ、教室や廊下に掲載した。

イ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

国語科では、1学期にクラス規模でのビブリオバトルを行った。学校図書館にある本、もしくは自分

のおすすめの本1冊を選び、紹介したいところや面白いところを分析した。

分析したことを中心に、本を5分間で紹介するための原稿を作り、練習をした。

生徒は練習期間を終えたのちに、「地区大会」と称してグループ内でのビブリオバトルを行い、本の紹介をしあった。その後、グループ内で最も評価が高かった生徒を勝ち抜けとし、「地区代表」とした。この生徒に対し、ほかの生徒は「よかった点・改善すべき点」を話し合い、代表の生徒の発表をサポートした。

次の授業時に代表6人～7人によるクラス内ビブリオバトルを行った。聞き手は全員審査員を担い、「話し方」「工夫」「伝わりやすさ」等の観点と、どの本が読みたくなったかという観点で評価し合い、最も評価の高かった1人を「ビブリオキング」として、表彰を行った。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

本を読むことに関心がなかった生徒が、普段手に取らない本を知ることができる機会ができた。

また、本に関心がある生徒に対しては、新たな本を知る機会になったと同時に、紹介し合うという活動を通じて、自分の感性を言葉にして伝えるという言語活動につながった。

(2) 課題

各活動を通じて、本に関心のある生徒はさらに本を読もうとしていたが、関心のない生徒は読書をする意識を高められなかった。その結果、両者の読書に対する意識に差が開いてしまったというのが大きな課題である。

(3) 終わりに

学校という児童生徒にとって多くの時間を過ごす場所で、図書に触れる機会を増加させていくことは大きな意味があると考えます。今後も、様々な工夫をしながら学校図書の充実に努めていきたい。